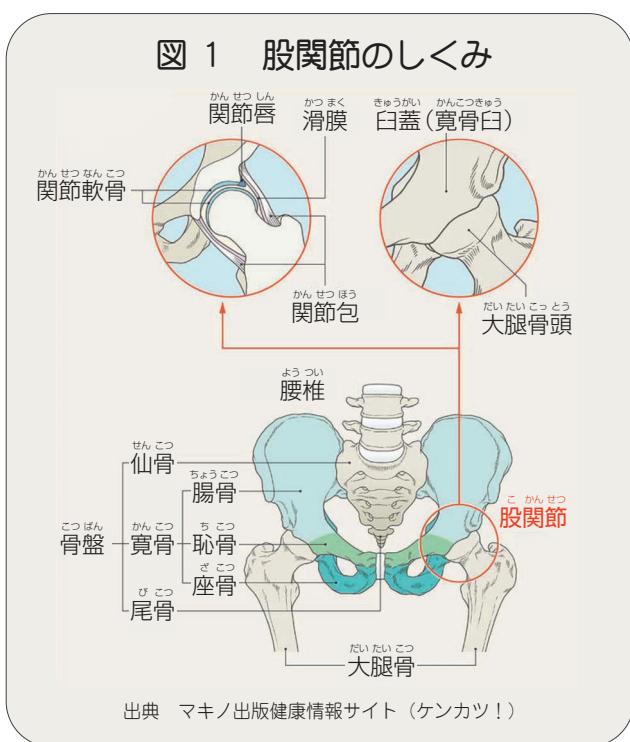




はじめに

股関節とは大腿骨頭(大腿骨のあたま)と臼蓋(骨盤側の入れ物)からなる関節です(図1)。乳児股関節脱臼とは、赤ちゃんの大腿骨頭が臼蓋から外れている状態を言います。脱臼したまま赤ちゃんが成長してしまうと、骨の形が変わり、歩行障害や将来的には股関節の痛みを認めることがあります。



出典 マキノ出版健康情報サイト(ケンカツ!)

原因、症状について

以前は「先天性股関節脱臼」と呼ばれていましたが、最近では「発育性股関節形成不全」と呼ばれるようになりました。昔は生まれつきの病気と考えられていましたが、生まれた時は問題なく抱っここの仕方などにより脱臼が起こってしまうため、「先天性」という言葉を使うのはおかしいという事で名前が変わりました。

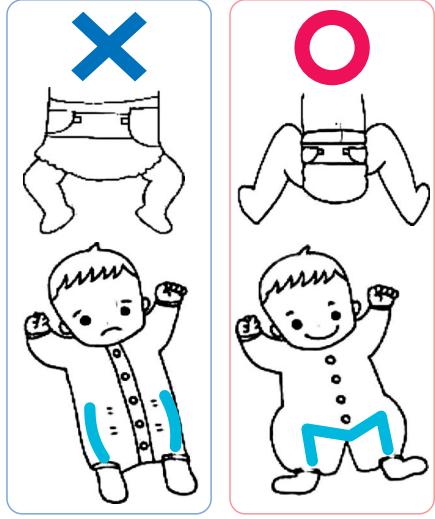
頻度は1000人に1~2人程度で女の子に多い病気です。また、お母さんやおばあちゃんなどが同じ病気だと起こりやすいと言われています。

症状としては股関節が開きにくかったり、太もものしわの数が異なったり、脚の長さが異なったりしてわかることもあります。しかし、毎日一緒にいるお母さんやお父さんがその症状にみんな気付くわけではありません。気付かずに成長してしまっては先ほど述べたように将来的に治す事の出来ない症状を作ってしまう事があるため、予防と早期発見が大切です。

予防について

2つの事が大切です。適切なおむつと抱っここの仕方です。赤ちゃんは股関節が開いている事が大切です。図2のようにおむつは股の部分が広く股関節が開きやすいもので、抱き方では赤ちゃんの股関節が開くような姿勢が良いとされています。相模原市では母子訪問相談員の人たちが、生後4ヶ月までにこれらの事を指導してくれます。

図2 好ましいおむつや洋服、コアラ抱っこ



出典 日本小児整形外科学会ホームページ 先天性股関節脱臼予防パンフレット

もちろん、これらの予防を行っても脱臼してしまう赤ちゃんもいます。しかし、早くに発見し治療を行えば正常な状態に戻せる可能性が高くなります。そのためには「乳幼児股関節脱臼検査」というものが重要な要素となります。

乳幼児股関節脱臼検査とは

一般的には生後4ヶ月でそれぞれの市町村が行う健診の中に含まれています。そこで行う一次健診は、股関節の開きを見たり、太もものしわの位置や数、脚の長さの異なりを確認したり、女の子であるとか家族に股関節が悪い人がいるかなどのチェックを行い、総合的に判断し、もっとしっかりとした検査が必要と判断された赤ちゃんは二次検診に行ってもらうようになります。つまり乳幼児股関節脱臼検査は赤ちゃんの股関節異常をまずはじめに発見する大切な検査です。

おわりに

何かご心配であれば、健診の際に先生に相談していただければ良いと思います。

(岩瀬 大)

肝臓病のお話

日 時 平成30年7月7日(土)午後3時~5時
場 所 相模原南メディカルセンター2階 大会議室
(相模原市南区相模大野4-4-1相模女子大学グリーンホール相模大野内)
講 演 演題「最近の肝臓病に関する話題」
講 師 北里大学医学部消化器内科学 准教授 日高 央先生
司 会 相模原市内科医会 市民公開講座司会 浅葉 宣之先生
費 用 入場無料 申し込み不要
無料相談会 当日受付先着 10名

お問い合わせ先
北里大学病院 消化器内科 市民公開講座担当 南茂
☎042-778-8111



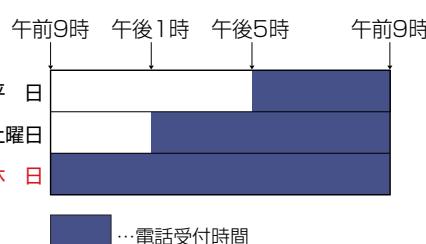
れんざの
こじけん
横丁

あねじ
おうこびの巻
秋葉山

休日・夜間の急病診療制度の利用

まず、かかりつけの医師に相談してください。かかりつけの医師が不在、近所の医療機関で診療が受けられない方は

☎042-756-9000
相模原救急医療情報センターへ
お電話してください。



市民のみなさんへお願い

- ◇診療可能な医療機関を案内します。
- ◇医療相談・歯科案内は行なっておりません。
- ◇急病で困ったときに利用してください。
- ◇応急診療が目的ですので、翌日はかかりつけの医師または近所の医師の診療を必ず受けてください。
- ◇健康保険証を必ず提示してください。されない場合は自由診療扱いとなり、費用が高額になります。
- ◇救急車は、生命に危険が生じた患者さんを一刻も早く運ぶためのものです。安易な利用は避けてください。
- ◇歯科の急病については休日急患歯科診療所☎042-756-1501へ(ウェルネスさがみはら2階)
- ◇服用している薬がある場合は、お薬手帳もしくは処方された薬をお持ちください。